

タバココナジラミの土着天敵タバコカスミカメ



タバココナジラミを捕食する
タバコカスミカメの雌成虫



タバコカスミカメの幼虫

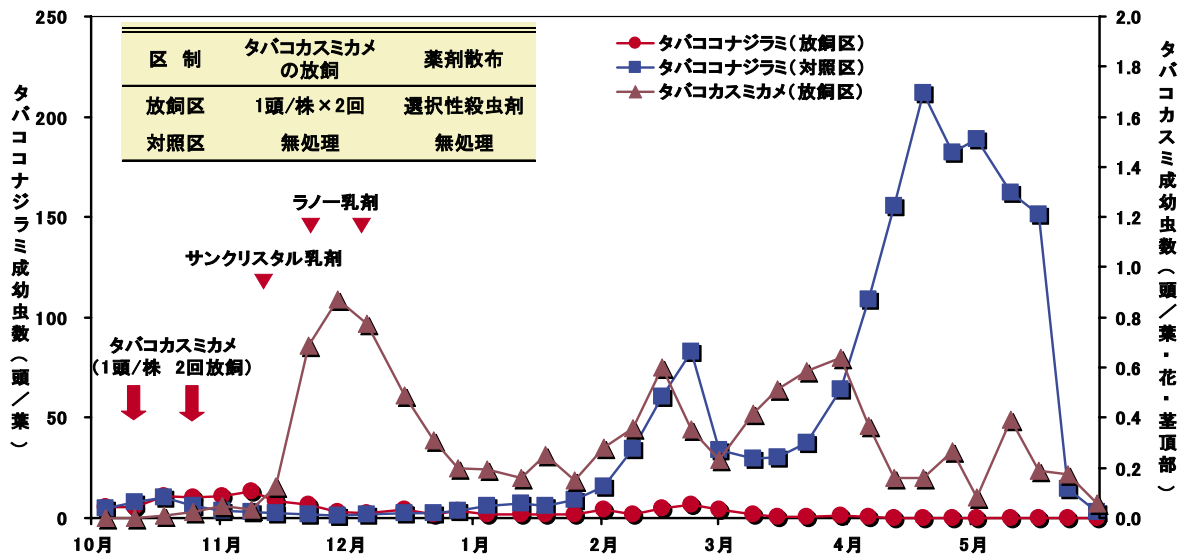


図 促成ピーマンにおけるタバココナジラミとタバコカスミカメの発生推移(2005年)
注) ↓はタバコカスミカメの放飼、▼は放飼区における薬剤防除を示す。

タバコカスミカメはコナジラミ類を捕食することが知られていましたが、捕食能力や生態については、明らかにされていませんでした。そこで、タバココナジラミに対する生物的防除資材としての可能性を検討するために、発育期間、産卵能力および捕食量を調査するとともに、促成ピーマンで放飼試験を実施しました。

その結果、25℃、16時間明期－8時間暗期では卵から成虫までの発育期間は約24日で、1雌当たりの総産卵数は約230卵でした。また、タバココナジラミ4齢幼虫(蛹)を与えた場合の1日当たりの捕食量は、雄成虫で約30頭、雌成虫では約36頭でした。放飼試験では、タバココナジラミの発生初期に本種

成虫を株当たり1頭、2回放飼と選択性殺虫剤を併用することで、タバココナジラミの発生を十分に抑制しました(図)。

以上から、本種はタバココナジラミに対して有望な生物的防除資材であると考えられました。なお、本種はトマトの害虫として知られていますが、本試験ではピーマンへの加害は確認されませんでした。

今後はピーマン以外の作物に対する加害の有無を調査するとともに、餌の選好性や休眠性について明らかにする予定です。

(環境システム開発室

中石一英 088-863-4917)